

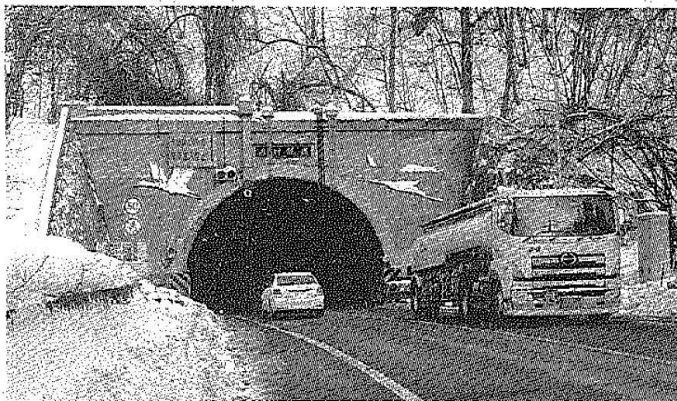
浦幌3トンネル 特殊車両通行禁止

(第3種郵便物認可)

十 勝 毎

浦幌町の国道38号にある3つのトンネルで、通行が禁止されている特殊車両が原因とみられる事故が相次いでいる。過去3年で少なくとも6件が発生、1月下旬には、はがれかけた天井板にぶつかりトラックが損傷する事故があった。十勝地区トラック協会は安全に走行できるよう、トンネル改良を求めている。

禁止車両通行？ 破損や事故



危険トンネル改良を

3トンネルは、1962〜64年に完成した「浦幌」「上厚内」「直別」。国道基準を満たしているが狭く、高さ3・8m、幅3mを超える特殊車両は通行を禁止している。

十勝管内の国道で、通年で通行規制しているのは当該3トンネルのみ。

1月21日には直別トンネルで事故が発生。釧路から帯広に向

かつていた帯広市内の運送会社
のトラックがトンネルを通過し
たところ、衝撃を感じた。60代
の男性ドライバーが停車して確
認すると、けん引していたトレ
ーラーの左前方上部が破損して
いた。トンネル内を調べると、
縦約1m、横約2mのアルミ板
が道路に落ちていた。



通行禁止車両が原因とみられる事故が発生した直別トンネル。トラック協会は改良を求めている

国道38号の浦幌3カ所 トラック協会が要望

井に設置された漏水防止用で、重量は約20kg。通行禁止の大きさの車両(原因車)がトンネルにぶつかり、ぶら下がった状態のアルミ板に、当該トラックが衝突したとみられる。運転手にけがはなかった。衝突したトラックは、通行基準を満たしていた。

同部は13〜15年度に3トンネルで同様の事故が計6件あったと把握しているが、「原因車が見つければ賠償を求めることができるが、管理側の瑕疵(かし)はない」とし、損傷した車両への補償はしていない。

修理費用に50万円掛かった市内運送会社は「ドライバーがけがをする可能性もあった。同じような事故が起きないように対策を取ってほしい」と懐る。

10年以上前から3トンネルの改良を要望している同協会の奥野一男専務理事は「通行基準内の大型車両でも、トンネル内のすれ違いはぎりぎり。余裕を持たせたトンネルに改良してほしい」と話す。

同部は現時点で改良の予定はないとし、禁止車両が通行しないよう定期的な取り締まりを含めた啓発活動に力を入れると説明する。(池谷智)